

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 9 日 作成

事務事業名	筋ジス患者療養給付事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	福祉課	担当者名	花田 秀樹
	基本事業	53	障がい者支援体制の確保	所属班	障がい福祉班	(内線)	2132
				法令根拠	合志市進行性筋萎縮症療養等給付事業受給者に対する負担軽減措置事業実施要綱		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-
	1	3	1	3	10539			コスト削減優先度評価結果	-
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成19 ~ 平成23 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 進行性筋萎縮症療養等給付事業受給者で引き続き「療養介護事業」の対象となる者については、他制度利用者に比べ、大幅な負担増となるケースがあることから、対象者の負担軽減を図ることを目的に利用者の状況に応じて、その一部または全額を補助する制度です。  
 【業務の流れ】  
 進行性筋萎縮症療養等給付事業受給者であって、かつ引き続き「療養介護事業」を利用している低所得1及び低所得2の者に対し、平成19年度～23年度に限り、平成18年10月の「療養介護事業」利用者負担額から平成18年9月の利用者負担額の2倍の額を差し引いた額を月額給付する。  
 【主な予算費目】 扶助費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 対象者4名に給付金を支給した。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	進行性筋萎縮症療養等給付事業受給者で引き続き「療養介護事業」の対象となる者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	法改正による大幅な負担増を緩和する
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	適切な介助支援を受けられる
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 ⇒ ア 対象者数 イ ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ⇒ ア 給付申請者数 イ ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 円 ⇒ ア 給付金額 イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 千円・月 ⇒ ア 介護支援を受けている障がい者一人当たりのサービス量 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 平成19 ~ 平成23 年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載 )		
		都道府県支出金	千円		502	502	502	1,311	1,000		1,000	4,315
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源	千円		168	168	168	168	135	135		774	
	(A) 事業費計	千円	0	670	670	670	1,479	1,135	1,135		5,089	
	うち指定経費	千円										
	うち時間外、特殊勤務手当	千円										
	人件費	人		3	3	3	3	3	3		15	
正規職員従事人数	人		3	3	3	3	3	3	15			
延べ業務時間	時間		40	40	40	40	40	40	200			
(B)人件費計	千円	0	159	159	159	159	159	159	796			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	829	829	829	1,638	1,294	1,294	5,885			
活動指標	人		4	4	4	4	4	4	4	目 標 合 計 値 画  22 年 度		
対象指標	人		4	4	4	4	4	4	4			
成果指標	円		670,000	670,000	670,000	1,479,000	1,135,000	1,135,000				
上位成果指標	千円・月		135	123	135	135	147					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成18年10月からの障害者自立支援法の施行により、進行性筋萎縮症療養等給付事業受給者で引き続き「療養介護事業」の対象となる者が大幅な負担増を被る事に対し、平成19年度から23年度に限り激変緩和措置を講じる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 平成19～20年度、2箇年だけの時限事業であったが、23年度まで延長された

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 特になし

事務事業名	筋ジス患者療養給付事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <b>療養介護受給者の経済的負担の軽減になっており、結びついている</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <b>国の特別対策事業であり、対象者の自己負担が増加した事に対する措置で公費で行なう必要がある</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <b>対象者は療養介護受給者であり妥当である</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <b>給付金の支給事業であり、財政負担を増やす以外に向上余地はない</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <b>受給対象者は法改正の影響を被っており、再び経済的負担が増大する</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <b>他の手段はない</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>国の補助事業であり、国が示した給付額であるため、削減余地はない</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>業務時間は最小限であり、削減余地はない</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <b>法改正による筋ジス患者の負担は特に大きくなっているため、他の受給者と比較しても公正である</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各月ごとの給付であるが、対象者の申請の手間を省略するため、年度末に一括給付した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	5	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )